



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和8年4月27日
5月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

ともに学ぶ

校長 すとう よしひで
須藤 善秀

昨年7月に大きく剪定した校庭のイチヨウの木にも、今年は新しい緑の葉がつき始め、さわやかな季節を迎えました。枝を整えたことで、これからの成長に向けて力を蓄えていたイチヨウの姿は、新学期を迎えた子どもたちの様子と重なって見えます。新学期が始まって1か月が過ぎ、子どもたちは新しい学年・学級での生活にも慣れ、学校のリズムをつかみながら日々の活動に取り組んでいます。

本校の学校教育目標は、

「ともに学び よりよい生き方を見つけだす しろさとっ子」

です。この目標のもと、子どもたちが人と関わりながら学ぶ経験を大切にした教育活動を進めています。

授業では、少人数での学習場面を取り入れ、一人一人が自分の考えをもつとともに、友達の考えに触れながら学びを深める活動を行っています。また、分からないことを互いに教え合ったり、考えを伝え合ったりする場면을意図的に設定することで、安心して学び合える雰囲気づくりを大切にしています。こうした関わりの中で、子どもたちは学習内容の理解を深めるとともに、自分の考えを伝え、相手の考えを受け止める力を身に付けていきます。

また、なかよしペア活動はまだ始まっていませんが、学校生活のさまざまな場面で、学年を越えた温かな関わりが見られます。登下校や休み時間、校内での活動の中で、6年生が1年生の様子を気かけ、やさしく声をかけたり、そっと見守ったりする姿が見られます。こうした最高学年の姿は、1年生に安心感を与えると同時に、学校全体に温かな雰囲気を広げています。

これらの取組を通して、学年や学習場面を越えて「ともに学ぶ」経験が学校全体に広がり、子どもたちは互いを認め合いながら成長しています。

今後も、本校の学校教育目標である

「ともに学び よりよい生き方を見つけだす しろさとっ子」

の実現に向け、授業や学校生活、さらに地域の方々との関わりを通して、人と関わりながら学ぶ教育活動を進めてまいります。学校・家庭・地域が連携し、子どもたち一人一人が、ともに学び合う中でよりよい生き方を見つけていけるよう、教職員一同、心を一つにして支援してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。